

あれよあれよという間に新しい年が始まりました！2013年は皆さんにとってどんな年でしたか？私はほんのちょこっとの変化があり、緩んでしまっていた体が筋肉痛で悲鳴をあげ・・・勉強の毎日でした。今年も昨年同様、「日々勉強！」の一年になりそうです。

2014年が皆さんにとって素敵な一年になりますように♪♪

報告が大変遅くなりました。11月16日に定例会と総会があり、今回は保護者の方2名と学生さんがお話ししてくださいました。

血を見ると何でも「ばんそうこ」の女の子。DVDや絵本で事前学習し、大好きな人形を使って下着やナプキンの当て方の練習をしておいたことで、実際に月経が始まった時に落ち着いていた。

月経の周期表を30日周期のメジャー式にしたことで、いつ頃始まるか子ども自身がわかりやすくなった。始まる3日前から布ナプキンを付ける「ルール」を決めたところ「いつ始まるか・・・」とドキドキしなくなった。

この「メジャー式周期表」はカレンダーに当てはめて使うのですが、一目でわかる、とてもわかりやすいものでした！

また、男の子ですが、子どもさんの成長の様子と思春期を迎えた時、性の指導に母親が直接関わることができないための難しさ、幼児期からの学びの大切さ等についてお話ししてくださいました。性教育に関するハンドブック等のまとめの資料があると療育に助かる・・・とお話もありました。

学生の方は「特別支援学校寄宿舎における性教育プログラムの検討」について他県でお話をされたそうで、その時の報告でした。プログラムの内容については「からだ探検隊」の内容とほぼ同じです。

性教育を始めるにあたって、職員間の「言葉の共有」が第一歩とのこと。子どもが戸惑わないためにも大切なことですね♪

### <定例会に参加された学生さんの感想>

- ・障がい児の性教育が重要だとは思っていなかった。インターネットの発達で学習しやすくなったがまだまだ分からないことが多い。このような研究会は大切だと思った。
- ・覚えることも難しく、続けていくことの大切さを知った。
- ・幼い頃からの指導で視覚的に学ぶことで身につくことがわかった。

保護者の方から、子どもさんの成長の様子や性教育との出会い、家庭での取り組みの様子などとても詳しくお話ししてくださいました。私たちの周りに誰に相談したらいいかわからずに困っている方がいるかもしれません。今回のお話をもっとたくさんの方に聞いていただきたいな・・・と思いましたし、「ハンドブック」があったらいいなあ～と思いながら聞かせていただきました。ありがとうございました。

### <定例会のお知らせ>

次回の定例会は2月22日（土）です。例年通り、長崎県“人間と性”教育研究協議会との抱き合わせ開催になります。一日セミナーです♪  
たくさんの方の参加をお待ちしております♪

